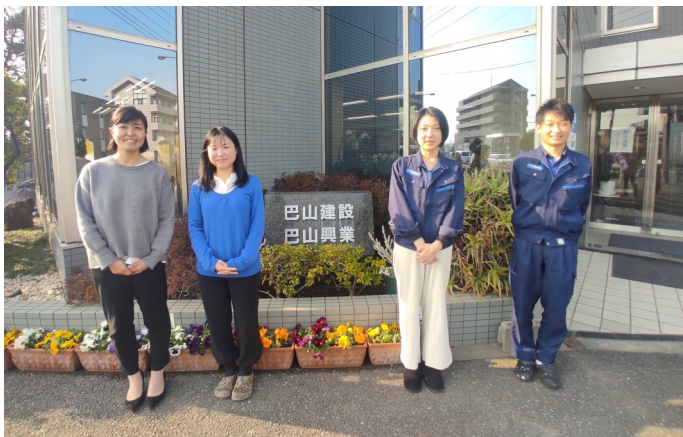


★女性活躍推進「えるぼし認定」を取得した企業★

柔軟な対応により女性が働きやすい職場を創出

多摩川原橋近く、鶴川街道沿いに本社を構える巴山建設株式会社(以下「巴山建設」といいます。)は、女性活躍推進の取組が優良な事業主として厚生労働省が認定する「えるぼし認定」(注)を、令和4年4月に取得しています。



今回取材した山中さん(左端)、佐藤さん(右端)と女性社員のみなさん

女性社員の入社による職場環境の改善

建設業が男性社会というイメージが強いためか、長い間、社員募集をしても女性の入社がなかったという巴山建設。令和2年の事務職の求人で2人の女性が入社し、「男所帯の職場」の環境改善が進みました。

●改善ポイント

- 1 女子トイレの便座
ウォーム機能がなく冷たい → 暖房便座に交換
- 2 段ボールのごみ箱
段ボールをゴミ箱として使用 → ゴミ箱の購入
- 3 休暇制度の見直し
子どもの関係や体調不良等への配慮
→ 半休制度の導入

●改善の効果

会社として、女性が入社することへの抵抗はなく、むしろ、女性が入ることにより、職場の雰囲気良くなりました。「女性だから」「男性だから」と性別で特別扱いをせず、一人一人の意見をくみ取っていこうとする“柔軟さ”が、女性が活躍できる職場の創出につながりました。

※巴山建設では「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の項目で「えるぼし認定」を取得しています。

(注)えるぼし認定:平成28年(2016年)から厚生労働省が実施している認定制度。女性活躍推進法に基づき「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の5つの基準を満たした企業が認定されます。えるぼしの「える」は「L」。「Lady(女性)」「Lead(手本)」「Labour(働く、取り組む)」など様々な意味を表しています。

「えるぼし認定」の重要性と今後の展望

●認定取得のきっかけ

「えるぼし認定」取得のきっかけは、公共事業の関係資料にあった「えるぼし認定」の記載でした。社内で認定について調べたところ、すでに職場環境が整っていると判断し、申請。結果として、「えるぼし認定」を取得することができ、会社として、大きな効果がありました。

●女性社員がもたらす変化

以前総務を担当していた佐藤さんは振り返ります。「女性社員の入社以降、仕事がよりしやすい環境になりました。初めは、業界的に男性社会のイメージが強いところに女性が入るとどうなるのか、という一抹の不安はありましたが、杞憂でした。」

●目指すべき会社像

会社としては、女性の採用を増やしていきたいと考えています。現在の女性社員は、事務やCADオペレーターですが、今後、現場の仕事を担う女性社員が出てくれば良いと思います。将来的には、男性社会というイメージを払拭し、感謝と尊敬をしあえる職場環境の構築を目指しています。(佐藤さん)

現時点で女性の離職者がゼロという巴山建設。山中さんは「社員みんなが助け合う雰囲気のある会社で働きやすい職場」と話されます。今後とも、女性も男性も、性別にかかわらず能力を発揮できる会社であり続けられるよう、更なる発展が期待されます。(取材担当)



●巴山建設株式会社

住所:調布市多摩川2丁目25-1

設立:昭和53年4月

事業:土木建設工事の設計、施行、監督請負/
とび土工工事/舗装工事 他

HP:<https://tomoyama-group.co.jp/>